

平成19年度菊陽町決算及び基金の運用状況審査意見書

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された平成19年度菊陽町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに財産に関する調書等の関係帳簿、諸書類を審査した結果、別紙のとおり意見を付する。

平成20年 8月 7日

菊陽町監査委員 大 倉 理 稔

菊陽町監査委員 酒 井 良 一

第1 審査の概要

1 審査の対象

- (1) 平成19年度菊陽町一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成19年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成19年度菊陽町老人保健特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成19年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成19年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成19年度菊陽町下水道特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成19年度菊陽町農業集落排水特別会計歳入歳出決算
- (8) 平成19年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算
- (9) 平成19年度菊陽町財産に関する調書
- (10) 平成19年度菊陽町基金運用状況調書

2 審査実施期日

平成20年7月9日から平成20年8月7日までのうち12日間

3 審査場所

菊陽町役場

第2 審査の方法及び決算の概要

1 審査の方法

この決算審査にあたっては、町長から送付された平成19年度各会計決算書、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等の書類についての計数の確認を行い、さらに、会計課の保管に属する諸書類、その他各課担当職員から関係書類の提出を求めるとともに、必要に応じ説明を聴取して、予算執行の適否並びに会計処理が適正に、しかも合理的に行われているかなどについて審査した。

2 決算の概要

(1) 一般会計

平成19年度菊陽町一般会計決算の状況は、歳入総額10,865,616,641円、歳出総額10,181,489,982円で、差引残額684,126,659円となっている。

ア 各年度別決算の推移をみると、下記のとおりである。

(表1) 各年度別決算の推移 (単位：円)

年度 区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
歳入	9,877,148,413	9,769,899,568	10,032,402,185	9,610,097,368	10,865,616,641
歳出	9,029,687,490	9,209,673,172	9,633,934,444	8,933,020,950	10,181,489,982
差引残額	847,460,923	560,226,396	398,467,741	677,076,418	684,126,659

イ 歳入

平成19年度の菊陽町一般会計歳入決算は、予算現額が11,231,136,000円、調定額が11,281,876,045円、収入済額が10,865,616,641円となっている。収入率は予算現額に対して96.75%、調定額に対して96.31%となっている。また、収入済額は、前年度より1,255,519,273円増加している。

歳入の執行状況(表2)をみると、収入未済額は、町税383,827,748円、分担金及び負担金(主に保育料)3,433,700円、使用料及び手数料(主に住宅使用料)

5,789,700円、諸収入718,127円で、不納欠損額は22,490,129円となっている。その他の款についてはすべて収入済となっている。

(表2)

平成19年度 菊陽町一般会計歳入の状況

(単位：円、%)

項目 款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入済額の 構成比
1 町 税	5,479,725,000	5,913,436,321	5,507,313,584	22,294,989	383,827,748	50.69
2 地方譲与税	208,813,000	208,813,000	208,813,000		0	1.92
3 利子割交付金	15,083,000	15,083,000	15,083,000		0	0.14
4 配当割交付金	9,746,000	9,746,000	9,746,000		0	0.09
5 株式等譲渡 所得割交付金	4,810,000	4,810,000	4,810,000		0	0.04
6 地方消費税 交付金	272,146,000	272,146,000	272,146,000		0	2.50
8 ゴルフ場利用 税交付金	22,878,000	22,878,520	22,878,520		0	0.21
9 自動車取得税 交付金	39,269,000	39,269,000	39,269,000		0	0.36
10 国有提供施設等所在市 町村助成交付金	4,167,000	4,167,000	4,167,000		0	0.04
11 地方特例 交付金	24,134,000	24,134,000	24,134,000		0	0.22
12 地方交付税	574,526,000	574,526,000	574,526,000		0	5.29
13 交通安全対策 特別交付金	7,750,000	7,750,000	7,750,000		0	0.07
14 分担金及び 負担金	231,830,000	237,975,488	234,346,648	195,140	3,433,700	2.16
15 使用料及び 手数料	115,040,000	127,949,323	122,159,623		5,789,700	1.12
16 国庫支出金	1,029,377,000	875,430,053	875,430,053		0	8.06
17 県支出金	487,166,000	489,447,444	489,447,444		0	4.50
18 財産収入	289,755,000	290,989,242	290,989,242		0	2.68
19 寄付金	8,000,000	8,000,000	8,000,000		0	0.07
20 繰入金	514,850,000	514,850,000	514,850,000		0	4.74
21 繰越金	647,076,000	647,076,418	647,076,418		0	5.96
22 諸収入	63,195,000	71,199,236	70,481,109		718,127	0.65
23 町 債	1,181,800,000	922,200,000	922,200,000		0	8.49
歳入合計	11,231,136,000	11,281,876,045	10,865,616,641	22,490,129	393,769,275	100.00

ウ 町税 (表3)

調定額は5,913,436,321円で、前年度の4,714,369,139円より1,199,067,182円増加し、収入済額は5,507,313,584円で、前年度の4,327,754,297円より1,179,559,287円増加している。収入率は、予算現額に対し100.50%、調定額に対し93.13%となっている。

(表3) 平成18年度と平成19年度 菊陽町税税目別徴収実績比較表 (単位:円、%)

税目\区分	年度	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率
町民税	平成18年度	1,584,593,495	1,434,826,258	11,064,281	138,702,956	90.55
	平成19年度	2,080,567,336	1,913,341,483	9,186,760	158,039,093	91.96
固定資産税	平成18年度	2,819,566,668	2,590,555,398	9,107,577	219,903,693	91.88
	平成19年度	3,508,803,836	3,277,854,627	12,480,229	218,468,980	93.42
軽自動車税	平成18年度	61,763,900	53,927,565	502,000	7,334,335	87.31
	平成19年度	67,777,735	59,830,060	628,000	7,319,675	88.27
たばこ税	平成18年度	248,445,076	248,445,076	0	0	100.00
	平成19年度	256,287,414	256,287,414	0	0	100.00
計	平成18年度	4,714,369,139	4,327,754,297	20,673,858	365,940,984	91.80
	平成19年度	5,913,436,321	5,507,313,584	22,294,989	383,827,748	93.13

(表4) 菊陽町税収入未済額の各年度別内訳 (単位:円、件)

税目\区分	年度	収入未済額	件数	計
個人町民税	平成19年度	44,442,619	3,069	10,855 件 150,176,093 円
	平成18年度	34,796,358	2,383	
	平成17年度	26,719,705	1,947	
	平成16年度	17,170,415	1,554	
	平成15年度	12,510,186	1,164	
	平成3~14年度	14,536,810	738	
法人町民税	平成19年度	2,535,600	35	113 件 7,863,000 円
	平成18年度	1,392,900	19	
	平成17年度	1,343,200	21	
	平成16年度	863,300	15	
	平成15年度	1,131,800	17	
	平成13~14年度	596,200	6	
固定資産税	平成19年度	38,574,740	1,422	6,096 件 218,468,980 円
	平成18年度	34,604,423	1,157	
	平成17年度	30,797,481	1,016	
	平成16年度	31,565,773	900	
	平成15年度	25,826,274	763	
	平成4~14年度	57,100,289	838	
軽自動車税	平成19年度	2,402,200	576	1,837 件 7,319,675 円
	平成18年度	1,688,400	421	
	平成17年度	1,191,300	310	
	平成16年度	942,460	247	
	平成15年度	831,380	215	
	平成8~14年度	263,935	68	
合計			18,901 件	383,827,748 円

(表5)

平成19年度菊陽町税不納欠損額の内訳

(単位：円)

税目	区分	不納欠損額	人数(社数)	不納欠損処分の理由
個人町民税		8,347,260	230	生活困窮 200人、行方不明5人、死亡 2人 倒産7人、執行停止5人、異動届無11人
法人町民税		839,500	14	経営不振 6社、倒産 8社
固定資産税		12,480,229	108	生活困窮 79人、行方不明 4人、死亡11人 倒産 6人、無資産1人、経営不振2人、執行停止5人
軽自動車税		628,000	119	生活困窮 104人、死亡5人、行方不明 6人 倒産4人
計		22,294,989	471	

エ 歳出 (表6)

平成19年度の菊陽町一般会計歳出決算は10,181,489,982円で、予算現額11,231,136,000円に対し執行率は90.65%となっている。また、支出済額は、前年度より1,248,469,032円増加している。

構成比をみれば、民生費が20.58%、土木費が19.04%、総務費が17.79%、教育費が12.08%、公債費が11.50%、衛生費が10.76%などとなっている。

なお、来年度への繰越額は、11事業の541,576,000円である。

(表6)

平成19年度 菊陽町一般会計歳出の状況

(単位：円、%)

款	区分	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
1	議会費	110,236,000	108,547,312	98.47	1.07
2	総務費	1,853,964,000	1,811,574,049	97.71	17.79
3	民生費	2,149,814,000	2,095,340,525	97.47	20.58
4	衛生費	1,137,622,000	1,095,149,801	96.27	10.76
5	労働費	21,684,000	21,103,884	97.32	0.21
6	農林水産業費	308,156,000	274,730,492	89.15	2.70
7	商工費	130,399,000	99,480,517	76.29	0.98
8	土木費	2,465,917,000	1,938,527,634	78.61	19.04
9	消防費	357,704,000	333,816,643	93.32	3.28
10	教育費	1,287,163,000	1,230,174,631	95.57	12.08
11	災害復旧費	2,783,000	1,839,999	66.12	0.02
12	公債費	1,172,075,000	1,171,204,495	99.93	11.50
14	予備費	233,619,000	0	0.00	0.00
	歳出合計	11,231,136,000	10,181,489,982	90.65	100.00

(表7)

平成20年度への繰越額明細(繰越明許費)

(単位:円)

款 項	事業名	計	左の財源内訳		摘要
			区分	金額	
2 総務費 3 戸籍住民基本台帳費	住居表示事業	1,942,500	既収入特定財源 一般財源	281,662 1,660,838	光の森地区街区表示板作成及び取付
6 農林水産業費 1 農業費	おおきく地区農村総合整備事業	19,580,000	一般財源	19,580,000	柳水の堤整備
7 商工費 1 商工費	企業誘致対策事業	14,175,000	一般財源	14,175,000	(仮称)三里木北工業団地測量設計等
8 土木費 2 道路橋梁費	道路橋梁維持事業	15,500,000	一般財源	15,500,000	光団地西線改修、新山4号線改修、中尾地内塘路改修 他
8 土木費 2 道路橋梁費	柳水東護川線道路改良事業	21,701,000	地方債 一般財源	19,500,000 2,201,000	工事請負費、公有財産購入費、他
8 土木費 2 道路橋梁費	北小学校原水駅線道路改良事業	27,401,000	国庫支出金 一般財源	15,070,000 12,331,000	工事請負費、公有財産購入費、補償費
8 土木費 2 道路橋梁費	横道合志2号線道路改良事業	36,101,000	一般財源	36,101,000	跨線橋取付擁壁工事
8 土木費 3 都市計画費	土地区画整理事業	261,253,000	国庫支出金 地方債 一般財源	81,768,000 161,500,000 17,985,000	(菊陽第二土地区画整理事業)工事請負費95,387、補償費156,255、他
8 土木費 4 住宅費	公営住宅建設事業(まちづくり交付金事業)	131,435,000	国庫支出金 地方債 一般財源	59,000,000 65,200,000 7,235,000	(原水団地2棟10戸)工事請負費125,345 他
9 消防費 1 消防費	防災ハザードマップ作成業務	4,087,500	一般財源	4,087,500	
9 消防費 1 消防費	防災行政無線整備事業	8,400,000	一般財源	8,400,000	武蔵ヶ丘移設、新成区増設
合 計		541,576,000	既収入特定財源 国庫支出金 地方債 一般財源	281,662 155,838,000 246,200,000 139,256,338	

(2) 国民健康保険特別会計

平成19年度菊陽町国民健康保険特別会計決算の状況は、歳入総額 3,060,795,201円、歳出総額 2,953,256,499円で、差引残額は 107,538,702円となっている。

ア 各年度別決算の推移

(表8) 菊陽町国民健康保険特別会計 各年度別決算の推移 (単位：円、%)

区分 \ 年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
歳入	2,205,822,057	2,365,318,497	2,446,558,213	2,740,670,829	3,060,795,201
歳出	2,064,614,650	2,173,679,253	2,294,458,074	2,564,854,382	2,953,256,499
差引残額	141,207,407	191,639,244	152,100,139	175,816,447	107,538,702

イ 歳入

平成19年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入決算は、予算現額 3,024,795,000円に対し収入済額は 3,060,795,201円で、収入率は予算現額に対し 101.19%となっている。また、調定額 3,381,754,732円に対し収入率は90.51%となっており、収入済額は前年度より 320,124,372円の増となっている。

歳入の執行状況(表10)をみると、国民健康保険税で収入未済額 289,314,687円と不納欠損額31,417,696円を生じている。

(表9) 各年度別国民健康保険税の収納状況 (単位：円、%)

区分 \ 年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
調定額	1,012,097,869	1,073,968,348	1,096,223,050	1,143,527,966	1,184,665,485
収入済額	723,068,580	765,850,664	786,439,955	832,718,111	863,933,102
収入率	71.44	71.31	71.74	72.82	72.93

(表10) 国民健康保険税の各年度別の推移 (単位：円)

区分 \ 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
平成15年度	686,796,000	1,012,097,869	723,068,580	23,954,141	265,075,148	36,272,580
平成16年度	751,390,000	1,073,968,348	765,850,664	37,059,334	271,058,350	14,460,664
平成17年度	782,192,000	1,096,223,050	786,439,955	33,497,749	276,285,346	4,247,955
平成18年度	808,505,000	1,143,527,966	832,718,111	18,060,230	292,749,625	24,213,111
平成19年度	849,577,000	1,184,665,485	863,933,102	31,417,696	289,314,687	14,356,102

(表11) 平成19年度国民健康保険税の収入未済額各年度別内訳 (単位：円、件)

年度	国民健康保険税一般分		国民健康保険税退職分		備 考
	収入未済額	件数	収入未済額	件数	
平成19年度	64,603,143	3,196	3,366,498	145	交付要求 10
平成18年度	49,307,633	2,399	1,429,076	89	交付要求 10
平成17年度	46,457,139	1,981	568,633	44	交付要求 10
平成16年度	40,913,030	1,774	1,227,473	76	交付要求 12
平成15年度	35,456,200	1,455	1,226,952	79	交付要求 10
S55~H14年度	44,142,060	1,298	616,850	45	差押35、交付要求15
計	280,879,205	12,103	8,435,482	478	

・上記収入未済額については、差押35件と裁判所に交付要求を67件行っている。

(表12) 国民健康保険税の不納欠損額の処分理由

年度	区分	不納欠損額	人 数	処分理由及び件数
平成3年度～平成18年度		31,417,696 ^円	225 ^人	生活困窮 185人、死亡 12人、 行方不明 20人、執行停止8人

(表13) 国民健康保険税の1世帯及び1人当たりの負担額の年度別推移 (単位：円)

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
1世帯当たり	179,682	179,276	174,549	177,705	176,604
1人当たり	81,727	82,794	81,704	85,003	85,989

ウ 歳出 (表14)

平成19年度菊陽町国民健康保険特別会計歳出決算は 2,953,256,499円で、予算現額 3,024,795,000円に対し執行率は 97.63%であり、前年度より 388,402,117円増えている。

構成比をみれば、保険給付費が62.27%、老人保健拠出金が18.63%などとなっている。

(表14)

国民健康保険特別会計 歳出の状況

(単位：円、%)

款	項目	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
総務費		19,947,000	17,368,823	87.07	0.59
保険給付費		1,883,976,000	1,838,912,846	97.61	62.27
老人保健拠出金		550,112,000	550,110,695	100.00	18.63
介護給付金		154,400,000	154,063,453	99.78	5.22
共同事業拠出金		330,942,000	330,940,054	100.00	11.21
保健事業費		35,466,000	34,580,143	97.50	1.17
基金積立金		655,000	654,556	99.93	0.02
諸支出金		26,686,000	26,625,929	99.77	0.90
予備費		22,611,000	0	0.00	0.00
歳出合計		3,024,795,000	2,953,256,499	97.63	100.00

(3) 老人保健特別会計

平成19年度菊陽町老人保健特別会計決算の状況は、歳入総額 2,447,490,978円、歳出総額 2,431,588,275円で、差引残額は 15,902,703円となっている。

ア 歳入

平成19年度菊陽町老人保健特別会計歳入決算は、予算現額 2,468,214,000円に対し、収入済額は 2,447,490,978円で、収入率は予算現額に対し 99.16%となっている。また、調定額 2,447,490,978円は収入済額と同額であり、収入率は100%である。

イ 歳出

平成19年度菊陽町老人保健特別会計歳出決算は 2,431,588,275円で、予算現額 2,468,214,000円に対し執行率は98.52%であり、前年度より157,002,198円増えている。執行状況を款別にみると(表15)のとおりである。

(表15)

老人保健特別会計 歳出の状況

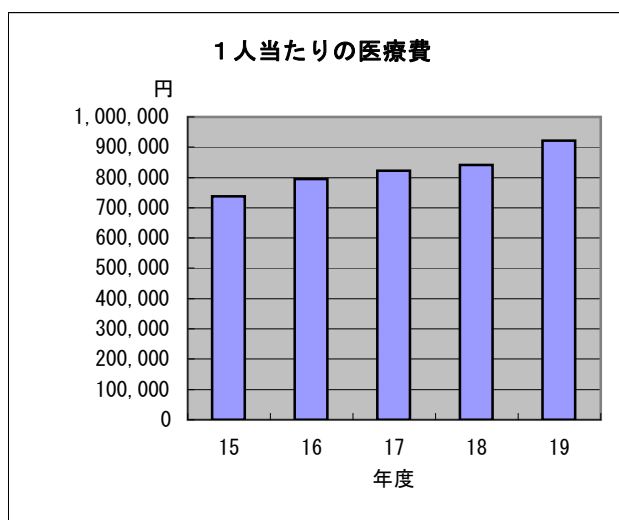
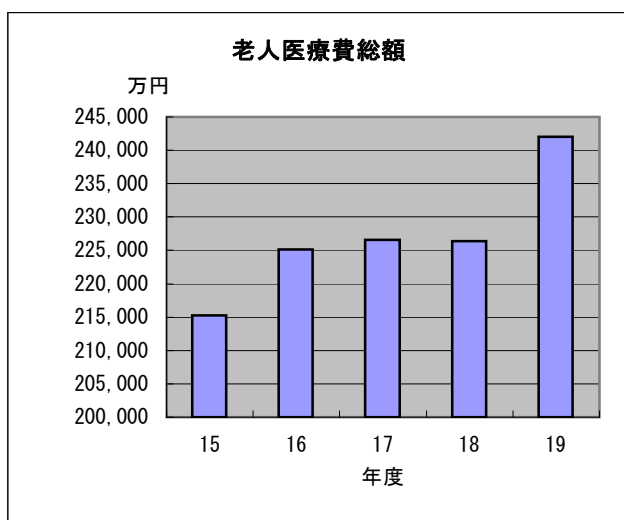
(単位：円、%)

款	区分	年 度	予算現額	支出済額	執行率
総務費		平成18年度	3,992,000	3,727,727	93.38
		平成19年度	4,142,000	3,643,682	87.97
医療諸費		平成18年度	2,272,816,000	2,270,858,350	99.91
		平成19年度	2,464,048,000	2,427,921,593	98.53
諸支出金		平成18年度	1,000	0	0.00
		平成19年度	24,000	23,000	95.83
計		平成18年度	2,276,809,000	2,274,586,077	99.90
		平成19年度	2,468,214,000	2,431,588,275	98.52

(表16)

老人医療費（一部負担金を含まない支払額）

年度	区分	総受診件数	総受診日数	医療費総額	年平均受給者数	1人当たりの医療費
平成15年度		63,578 ^件	184,158 ^日	2,152,469,778 ^円	2,919 ^人	737,400 ^円
平成16年度		64,499	182,341	2,251,712,430	2,836	793,975
平成17年度		65,541	176,083	2,265,651,508	2,754	822,677
平成18年度		65,839	171,183	2,263,604,409	2,693	840,551
平成19年度		65,933	172,377	2,420,664,534	2,624	922,509



(表17)

平成19年度老人医療費支給状況

項目	区分	支払件数(件)	日数(日)	支払金額(円)
医科の入院		3,320	66,078	1,363,884,245
医科の入院外		41,188	95,477	716,460,603
歯科		4,032	9,874	54,824,626
調剤		17,260	—	166,329,414
食事療養費		—	—	79,723,674
施設療養費		—	—	0
老人訪問看護療養費		133	948	8,050,345
治療用器具費		91	—	3,202,701
柔道整復師の施術		382	—	4,566,709
食事療養費差額		—	—	0
高額医療費		2,805	—	21,523,725
はり・あんま		82	—	2,098,492
合計		69,293	172,377	2,420,664,534

翌年度繰越額 15,902,703円

(4) 介護保険特別会計

平成19年度菊陽町介護保険特別会計決算の状況は、歳入総額 1,456,516,548円、歳出総額 1,424,476,380円で、差引残額は 32,040,168円となっている。

ア 歳入

平成19年度菊陽町介護保険特別会計歳入決算は、予算現額 1,454,853,000円に対し、収入済額は 1,456,516,548円で、収入率は予算現額に対し100.11%となっている。また、調定額 1,465,777,028円に対し、収入率は99.37%である。

歳入の執行状況をみると、介護保険料で収入未済額 7,638,580円(1,038件、288人分)と不納欠損額 1,621,900円(258件、66人分)が生じている。

その他の款についてはすべて収入済となっている。

(表18)

各年度別介護保険料の収納状況

(単位：円、%)

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
調定額	185,092,750	193,931,500	202,324,900	267,775,300	281,444,300
収入済額	181,091,650	188,434,900	195,597,200	259,183,100	272,183,820
不納欠損額	529,300	1,129,600	1,282,500	2,367,600	1,621,900
収入未済額	3,471,800	4,367,000	5,445,200	6,224,600	7,638,580
収入率	97.84	97.17	96.67	96.79	96.71

イ 歳出

平成19年度菊陽町介護保険特別会計歳出決算は1,424,476,380円で、予算現額1,454,853,000円に対し執行率は97.91%であり、前年度より76,274,582円増えている。執行状況を款別にみると（表19）のとおりである。

（表19） 介護保険特別会計歳出の状況 （単位：円、%）

款	項目	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
総務費		26,583,000	24,222,961	91.12	1.70
保険給付費		1,350,789,000	1,327,799,932	98.30	93.21
財政安定化基金 拠出金		1,283,000	1,282,324	99.95	0.09
地域支援事業費		63,788,000	59,229,996	92.85	4.16
基金積立金		1,000	0	0.00	0.00
公債費		11,667,000	11,666,667	100.00	0.82
諸支出金		742,000	274,500	36.99	0.02
歳出合計		1,454,853,000	1,424,476,380	97.91	100.00

（表20） 介護保険給付費の各年度別推移 （単位：円）

項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
介護サービス費	982,706,356	1,077,714,849	1,161,340,266	1,236,642,202	1,304,122,396
審査支払手数料	1,429,949	1,380,920	1,595,810	1,710,285	1,772,320
高額介護サービス費	9,774,476	9,869,450	13,601,818	20,925,605	21,905,216
保険給付費（合計）	993,910,781	1,088,965,219	1,176,537,894	1,259,278,092	1,327,799,932

（表21） 要介護（要支援）者数の各年度別推移 （単位：人）

項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
要支援1	130	161	182	117	99
要支援2				99	121
要介護1	183	195	213	166	153
要介護2	87	101	107	135	135
要介護3	88	88	110	120	130
要介護4	81	81	89	111	114
要介護5	69	73	71	79	93
合計	638	699	772	827	845

(5) 住宅新築資金等貸付事業特別会計

平成19年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の状況は、歳入総額18,482,686円、歳出総額7,475,336円で、差引残額は11,007,350円となっている。
過去5年間の決算の推移は（表22）のとおりである。

(表22) 過去5年間の決算の推移 (単位：円)

年度 区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
歳入	12,093,764	13,732,903	10,016,124	11,181,737	18,482,686
歳出	7,415,412	9,440,411	5,391,131	6,748,790	7,475,336
差引残額	4,678,352	4,292,492	4,624,993	4,432,947	11,007,350

ア 歳入

平成19年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入決算は、予算現額17,166,000円に対し、収入済額は18,482,686円、収入率は予算現額に対し107.67%となっている。また、調定額47,387,961円に対し、収入率は39.00%である。

歳入の執行状況をみると、収入未済額が28,905,275円となっている。その他の款についてはすべて収入済となっている。

(表23) 収入未済額の状況 (単位：円、%、人)

項目 区分	調定額	収入済額	収入率	収入未済額	人数
現年分	8,499,246	8,483,491	99.81%	15,755	1
滞納繰越分	34,267,768	5,378,248	15.69%	28,889,520	10
合計	42,767,014	13,861,739	32.41%	28,905,275	11

イ 歳出

平成19年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳出決算は7,475,336円で、予算現額17,166,000円に対し執行率は43.55%であり、前年度より726,546円増えている。執行状況を款別にみると（表24）のとおりである。

(表24)

歳出執行状況

(単位：円、%)

款	項目	年 度	予算現額	支出済額	執行率
総 務 費		平成18年度	39,000	28,350	72.69
		平成19年度	39,000	30,300	77.69
公 債 費		平成18年度	6,722,000	6,720,440	99.98
		平成19年度	7,617,000	7,445,036	97.74
予 備 費		平成18年度	2,521,000	0	0.00
		平成19年度	9,510,000	0	0.00
歳 出 合 計		平成18年度	9,282,000	6,748,790	72.71
		平成19年度	17,166,000	7,475,336	43.55

(6) 下水道特別会計

平成19年度菊陽町下水道特別会計決算の状況は、歳入総額 1,878,758,946円、歳出総額 1,849,774,876円で、差引残額は 28,987,070円となっている。

ア 歳入

平成19年度菊陽町下水道特別会計歳入決算は、予算現額 1,876,825,000円に対し、収入済額は 1,878,758,946円で、収入率は予算現額に対し100.10%となっている。また、調定額 1,890,684,086円に対し、収入率は99.37%である。

歳入の執行状況をみると、使用料と負担金で11,169,840円の収入未済額があり、不納欠損額も 755,300円生じている。その他の款についてはすべて収入済となっている。

過去5年間の収入未済額は（表25・26）のとおりである。

(表25)

下水道特別会計 収入未済額（使用料（現年度分））

(単位：円、件)

年度 区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
収入未済額	4,704,245	4,776,110	5,381,220	5,981,840	4,699,630
件 数	984	1,248	1,448	1,573	1,747

(表26)

下水道特別会計 収入未済額（受益者負担金（現年度分））

(単位：円、件)

年度 区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
収入未済額	634,670	3,012,170	1,337,880	778,890	993,160
件 数	43	15	77	90	104

イ 歳出

平成19年度菊陽町下水道特別会計歳出決算は1,849,774,876円で、予算現額1,876,825,000円に対し執行率は98.56%であり、前年度より191,503,731円減っている。執行状況を款別にみると（表27）のとおりである。

（表27） 下水道特別会計 歳出の状況 （単位：円、%）

款 \ 項目	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
総務費	36,950,000	35,785,944	96.85	1.93
維持費	382,450,000	381,108,539	99.65	20.60
事業費	774,651,000	764,662,089	98.71	41.34
公債費	668,242,000	668,218,304	100.00	36.12
予備費	14,532,000	0	0.00	0.00
歳出合計	1,876,825,000	1,849,774,876	98.56	100.00

(7) 農業集落排水特別会計

平成19年度菊陽町農業集落排水特別会計決算の状況は、歳入総額43,712,085円、歳出総額41,750,109円で、差引残額は1,961,976円である。

ア 歳入

平成19年度菊陽町農業集落排水特別会計歳入決算は、予算現額43,642,000円に対し、収入済額は43,712,085円で、収入率は予算現額に対し100.16%となっている。また、調定額43,749,555円に対し、収入率は99.91%である。

イ 歳出

平成19年度菊陽町農業集落排水特別会計歳出決算は41,750,109円で、予算現額43,642,000円に対し執行率は95.66%である。款別執行状況は（表28）のとおりである。

（表28） 農業集落排水特別会計 歳出の状況 （単位：円、%）

款 \ 項目	予算現額	支出済額	執行率	支出済額の構成比
総務費	562,000	533,766	94.98	1.28
維持費	8,580,000	7,218,275	84.13	17.29
事業費	11,277,000	11,277,000	100.00	27.01
公債費	22,723,000	22,721,068	99.99	54.42
予備費	500,000	0	0.00	0.00
歳出合計	43,642,000	41,750,109	95.66	100.00

(8) 土地取得特別会計

平成19年度菊陽町土地取得特別会計決算の状況は、歳入総額 240,400,041円、歳出総額 240,400,041円で、差引残額は 0円である。

ア 歳入

平成19年度菊陽町土地取得特別会計歳入決算は、予算現額 240,513,000円に対し、収入済額は 240,400,041円で、収入率は予算現額に対し99.95%となっている。また、調定額 240,400,041円に対し、収入率は100%である。

イ 歳出

平成19年度菊陽町土地取得特別会計歳出決算は 240,400,041円で、予算現額 240,513,000円に対し執行率は99.95%である。

なお、歳出の主なものは、平成18年度に取得した光の森地区内の公共用地に係る公債費の償還金 238,862,971円である。

(表29) 土地取得特別会計 歳入の状況 (単位：円)

項目 款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算現額に対する収入率
財産収入	544,000	431,420	431,420	0	79.31
繰入金	239,969,000	239,968,621	239,968,621	0	100.00
歳入合計	240,513,000	240,400,041	240,400,041	0	99.95

(表30) 土地取得特別会計 歳出の状況 (単位：円)

項目 款	予算現額	—	支出済額	—	予算現額に対する執行率
土地開発基金 積立金	544,000	—	431,420	—	79.31
諸支出金 (財産取得費)	1,106,000	—	1,105,650	—	99.97
公債費	238,863,000	—	238,862,971	—	100.00
歳出合計	240,513,000	—	240,400,041	—	99.95

第3 審査の結果

1 平成19年度菊陽町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書並びに財産に関する調書・基金運用状況調書は、地方自治法、同法施行令、同法施行規則に定められた規定どおりに作成されていた。また、予算書、収入伝票、収支日計表、財産台帳、預金通帳等について照査し、その内容を審査したが、積数計算は正確であることを確認した。

一方、予算執行事務や財産管理についても、適法かつ適正であることを認めた。なお、決算審査の内容及び予算執行について必要な事項は、その都度担当職員に指摘し、今後の処理方法について共に検討した。

2 平成19年度菊陽町一般会計歳入決算の収入率は、調定額に対して 96.31%であった。

そのうち、町税の徴収率は調定額に対して 93.13%で、前年度より1.33%の増となっているが、今後も更なる努力をされたい。

3 平成19年度菊陽町一般会計の町税の収入未済額 383,827,748円のうち、滞納金については、差押、交付要求、分納の措置を行っているが、税等の公平性と歳入確保のため、徴収率向上に引き続き努力されたい。

4 平成19年度菊陽町一般会計の町税の不納欠損額は22,294,989円で、前年度20,673,858円より1,621,131円増えているが、今回の審査では現状等を厳密に調査し、やむを得ないものとして認定した。今後も、不納欠損に当たっては、十分な調査を行い慎重な対応をお願いしたい。

5 平成19年度菊陽町一般会計の分担金及び負担金の収入未済額は、3,433,700円で、その内容は、児童福祉費負担金（保育料 250件・59人）である。なお、不納欠損額 195,140円の内訳は、児童福祉費負担金8人分である。

保育所に入ることのできない待機児童が数多くいる中、徹底した徴収に努められたい。

6 平成19年度菊陽町一般会計の使用料及び手数料のうち、町営住宅使用料収入未済額は5,789,700円であり、前年度の2,272,700円と比較し3,517,000円の増となっている。収入未済額は年々増加傾向にあるため、滞納整理に当たってはさらなる努力をされたい。

- 7 平成19年度菊陽町一般会計の繰越明許費は、11事業の541,576千円となっている。いずれも明許繰越の事務手続は適正になされているが、今後は事業計画を十分に検討されたい。
- 8 平成19年度菊陽町国民健康保険特別会計の税の収入未済額は、前年度より3,434,938円減少しているものの、社会情勢の変化に伴い未納件数は増加傾向にある。不納欠損額も前年度より増加しており、滞納整理については、さらに検討を加え、積極的に対応され徴収事務の円滑化と滞納整理の向上を徹底されたい。
- 9 平成19年度菊陽町国民健康保険特別会計の保険給付費は1,838,912,846円で、前年度の1,669,339,097円より169,573,749円増加している。今後とも給付費の節減及び健康で健やかな町民の育成を図るため、早期発見、早期治療等、定期検診の徹底を図られたい。
- 10 平成19年度菊陽町老人保健特別会計の老人医療費支払金額は2,427,921,593円で、前年度の2,270,858,350円より157,063,243円増加しており、1人当たりの老人医療費支払額も年々増加している。今後、執行部においては、老人の健康維持の増進のために予防医学の普及を図るなど、住民の理解と協力のもとに医療費の節減に努められたい。
- 11 平成19年度菊陽町介護保険特別会計の保険給付費は1,327,799,932円で、前年度の1,259,278,092円より68,521,840円増加している。給付費の節減対策にも努められたい。
また、介護保険料の収入未済額が7,638,580円、不納欠損額が1,621,900円生じているので、今後とも、なお一層の徴収に努力されたい。
- 12 平成19年度菊陽町住宅新築資金等貸付事業特別会計の決算については、貸付事業が平成4年度で終了しているため、歳入では貸付金返済収入、歳出では公債費の償還が主となっている。貸付金返済収入のうち、過年度分の収入未済額が28,889,520円（10人分）となっているため、なお一層の徴収に努力されたい。
- 13 平成19年度菊陽町下水道特別会計の決算においては、下水道使用料のうち7,445,230円、受益者負担金のうち3,724,610円が収入未済となっている。また、合わせて755,300円の不納欠損額も生じており、今後ともなお一層の徴収に努力されたい。

14 平成19年度菊陽町農業集落排水特別会計決算は適正に処理されているが、一般会計からの繰入金の圧縮に努力されたい。

15 平成19年度菊陽町土地取得特別会計決算は適正に処理されていた。なお、本年度における新たな用地取得は行われていない。

16 財産に関する調書及び基金運用状況調書

公有財産については、これまでの漏れ等を精査し修正がなされているが、今後は関係課連携し台帳等の整備を図られたい。物品及び債権については、関係台帳と照合の結果、適正に管理・運用がなされていることを認めた。

また、基金については、基金の設置の趣旨に基づいて適正かつ効率的に運用されているか、計数は正確であるか等について審査したところ、いずれの基金も目的に沿った適正な運用がなされていることを認めた。

基金別（表31）に見れば、財政調整基金が167,750千円（うち平成18年度分積み立て163,000千円）、減債基金が50,607千円（うち平成18年度分積み立て50,000千円）、学校建設基金が100,025千円（うち平成18年度分歳出積み立て100,000千円）それぞれ増加している。一方、ふるさと創生事業基金が5,500千円、人材育成基金が12,400千円、社会福祉振興基金が500千円、土地区画整理事業基金が30,784千円、スポーツ振興基金が1,500千円それぞれ減少（取り崩し）しているが、平成18年度分である。

今後ともさらに基金の設置目的に沿って、効率的運用に努力されたい。

なお、表31は、上段が財産に関する調書における数値（⑲4/1～⑳3/31）、下段は平成19年度決算における数値（⑲4/1～⑳5/31）である。

(表 3 1)

各項目別基金状況 (平成 19 年度末基金保有状況)

(単位 : 千円)

区分 基金名	財産調書、⑱決算の別	平成 18 年度末	平成 19 年度		平成 19 年度末
			増	減	
財政調整基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	1,511,607	167,750		1,679,357
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	1,644,607	196,750	400,000	1,441,357
減債基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	398,543	50,607		449,150
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	448,543	100,607	100,000	449,150
公共施設整備基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	312,886	477		313,363
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	312,886	477		313,363
ふるさと創生事業基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	365,768	564	5,500	360,832
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	360,268	564		360,832
人材育成基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	179,814	624	12,400	168,038
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	167,414	624	11,350	156,688
社会福祉振興基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	254,987	602	500	255,089
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	254,487	602	500	254,589
土地区画整理事業基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	157,396	244	30,784	126,856
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	126,612	186,760		313,372
学校建設基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	9,397	100,025		109,422
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	109,397	100,025		209,422
表彰基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	4,462	16		4,478
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	4,462	16		4,478
スポーツ振興基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	94,964	259	1,500	93,723
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	93,464	259	3,000	90,723
ふるさと・水と土保全基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	10,500	14		10,514
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	10,500	14		10,514
町営住宅建設基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	1,255	2		1,257
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	1,255	2		1,257
療養給付支払等基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	181,990	654		182,644
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	181,990	654		182,644
下水道運営基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	65,484	100		65,584
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	65,484	100		65,584
農業集落排水事業運営基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	13,392	19		13,411
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	13,392	19		13,411
土地開発基金	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	279,654	432		280,086
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	279,654	432		280,086
合計	財産調書 (⑱4/1~⑳3/31)	3,842,099	322,389	50,684	4,113,804
	⑱決算 (⑱4/1~⑳5/31)	4,074,415	587,905	514,850	4,147,470

(注) 基金状況については、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の増減を記載しているので、各年度の決算状況と一部異なる場合がある。

17 財政構造の弾力性

健全な財政運営の要件は、収支の均衡を保持しながら経済的変動や町民要望に対応する弾力性をもつものでなければならない。普通会計における財政力の動向、財政構造の弾力性を判断する主要財政指標の年度別推移は、（表32）のとおりである。

（表32） 主要財政指標の年度別推移

年度 \ 区分	財政力指数	経常収支比率(%)	公債費比率(%)	標準財政規模(千円)
平成13年度	0.540	67.8	10.9	6,284,441
平成14年度	0.593	75.1	10.0	6,200,305
平成15年度	0.653	77.2	12.1	5,776,258
平成16年度	0.701	82.6	13.9	6,125,013
平成17年度	0.714	83.1	13.5	6,331,323
平成18年度	0.748	83.5	12.8	6,467,806
平成19年度	0.813	90.0	15.7	6,927,166

ア 財政力指数

財政力の強弱を示す指標として用いられるもので、普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3年間の平均値である。この指標が1を超えるほど財源に余裕があるとされているが、本年度は0.813で、前年度より0.065ポイント伸びている。

イ 経常収支比率

財政の弾力性は経常収支比率により判断されるが、その率が低ければ低いほど財政の弾力性は大きく、財政構造がすぐれているといえる。その比率は、おおむね、70～75%の間に分布するのが標準とされている。本町の経常収支比率は90.0%で、前年度から6.5ポイント上昇しており、今後の財政の硬直化が懸念される。

ウ 公債費比率

公債費比率は、経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率で公債の元利償還額の負担状況を示す指標である。この比率が高いほど財政硬直化の一因となるものとされているが、通常、財政構造の健全性がおびやかされないためには、この比率が10%を超えないことが望ましいとされている。15%を超えると黄信号、20%以上は赤信号といわれている。本年度は15.7%で、前年度より2.9ポイント増加している。

エ 標準財政規模

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の規模を示すもので、おおむね、町税、地方譲与税、各種交付金、普通交付税、臨時財政対策債の合計と等しい。ここ数年は税収の増加もあり年々増加している。

オ 財政の構造について分析して考察すればおおむね次のとおりである。

(1) 歳入の構成

①自主財源と依存財源に区分し、年度別に比較すると（表33）のとおりである。

(表33) 普通会計自主財源・依存財源年度別比較 (単位：千円、%)

区分	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
自主財源	6,124,470	61.0	5,534,418	47.0	7,413,942	68.1
依存財源	3,918,069	39.0	6,232,804	53.0	3,470,588	31.9
計	10,042,539	100.0	11,767,222	100.0	10,884,530	100.0

自主財源と依存財源の構成比は68.1%対31.9%となっており、自主財源の比率が大きく増加している。前年度と比較すると、自主財源では、町税が1,179,560千円、繰入金が464,166千円、繰越金が278,416千円それぞれ増加している。依存財源は、国庫支出金が232,529千円、県支出金が151,291千円それぞれ増加しているものの、町債が2,233,400千円、地方交付税が667,177千円、地方譲与税が219,216千円それぞれ減少している。

②経常的収入と臨時的収入の構成割合は、70.7%対29.3%となっており、年度別に比較すると（表34）のとおりである。

(表34) 普通会計経常的収入・臨時的収入年度別比較 (単位：千円、%)

区分	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
経常的収入	7,339,991	73.1	7,207,857	61.3	7,696,732	70.7
臨時的収入	2,702,548	26.9	4,559,365	38.7	3,187,798	29.3
計	10,042,539	100.0	11,767,222	100.0	10,884,530	100.0

(2) 歳出の構成

歳出決算額を性質別に区分し前年度と比較すると、(表35)のとおりである。

(表35)

普通会計性質別歳出決算額

(単位：千円、%)

区分		平成18年度		平成19年度		対前年度比	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
消費的経費	人件費	1,624,598	14.7	1,659,612	16.3	35,014	2.16
	扶助費	572,482	5.2	753,081	7.4	180,599	31.55
	維持補修費	39,918	0.4	44,976	0.4	5,058	12.67
	補助費等	1,058,238	9.5	1,209,078	11.9	150,840	14.25
	物件費	1,481,949	13.4	1,518,713	14.9	36,764	2.48
	小計	4,777,185	43.1	5,185,460	50.9	408,275	8.55
投資的経費	普通建設事業費	3,845,347	34.7	1,918,258	18.8	△ 1,927,089	△ 50.11
	災害復旧費	33,682	0.3	1,840	0.0	△ 31,842	△ 94.54
	小計	3,879,029	35.0	1,920,098	18.8	△ 1,958,931	△ 50.50
その他の経費	公債費	1,123,124	10.1	1,417,512	13.9	294,388	26.21
	積立金	315,700	2.8	556,700	5.5	241,000	76.34
	投資・出資・貸付金	756	0.0	1,566	0.0	810	107.14
	繰出金	989,919	8.9	1,108,060	10.9	118,141	11.93
	小計	2,429,499	21.9	3,083,838	30.3	654,339	26.93
合計		11,085,713	100.0	10,189,396	100.0	△ 896,317	△ 8.09
経常経費充当一般財源		5,554,061	50.1	6,159,123	60.4	605,062	10.89

消費的経費は 5,185,460千円で、前年度と比較し 8.55%、408,275千円の増となっており、歳出総額に占める割合は 50.9%となっている。投資的経費は 1,920,098千円で、前年度と比較し50.50%、1,958,931千円の大幅減となっている。その他の経費は 3,083,838千円で、前年度と比較し26.93%、654,339千円の増となっている。

一方、これらの経費に充当された経常一般財源は 6,159,123千円で、前年度と比較し 10.89%、605,062千円増加している。

18 審査意見

平成19年度歳出予算は第三次菊陽町行財政改革の達成に向けて歳入予算と収支均衡を保ちながら策定されていたが、各事業の推進、執行状況を審査した結果、一部補正予算や繰り越しの設定を施しているものの、それぞれの事務事業は厳しい財政事情にもかかわらずその目的に沿って効果的に行われ、本年度の当初計画は概ね達成されていると認められる。

また、決算においては一般会計で約508,070千円（歳出予算現額の4.5%）、特別7会計で177,286千円の予算に対する不用額が生じており、一部計画の執行が特殊事情で見送られたものもあるが、需用費・役務費等で経費の削減及び縮減の努力が感じられる。

一方、町税、分担金・負担金、使用料等の一般会計歳入決算で約393,769千円、特別7会計で約337,293千円の収入未済額が計上されている。

三位一体の改革や地方分権制度が実施される中であって、特に本町は地方交付税の減少が毎年加速しており、自主財源の確保及び税負担等の公平性の観点から未収金の解消に努力されたい。

※ むすび

我が国の経済は景気の回復に向かっていたものの、ここに来てにわかに原油価額の高騰が諸生産物の原材料に影響し、生活必需品の値上げを招き、また年金、保険等の問題で国民生活に動揺を来たし、個人消費は買い控え、下降が懸念されており、対外貿易交渉も厳しく、国の財政も先行き不透明である。

この様な情勢のなか、本町においては財政力の指標とされる財政力指数が、人口の増加や企業の進出・拡張等による税收等の伸びにより年々上昇し、好ましい傾向にあるが、経常収支比率、公債費比率も上昇しており注意しなければならない。

また、平成19年度の歳入においては、自主財源である町税は財政力指数が示すように、対前年度比1,179,559千円、27.26%の増収で徴収率も93.13%まで上げて、大変努力されているが、国からの地方交付税は年々減少し、667,177千円の減収となっており、基金からの繰り入れ金を514,850千円充当している状況にある。

歳出においては、ごみの減量化に取り組み、対前年度比約480t、4.7%を減量し、平成20年度処理費用において31,000千円の経費削減を計るなど、努力されている。しかし、本町は今後も乳幼児、児童、高齢者が増加し、教育費や医療福祉の民生費が増大すると予測されるなかで、小中学校の耐震対策事業、第二土地区画整理事業、町営住宅建設事業、下水道

事業などの緊急かつ重要なハード事業の課題も控えている。

今後も厳しい財政状況の中での行政運営となるであろうが、「人・緑・元気 輝く 生活創造都市」を目指して、第三次菊陽町行財政改革に示された取り組みを進められたい。

なお今般、地球温暖化防止対策の一環として、他市町村に先駆け、マイバックの家庭配布を行われたことは、ごみ排出量の減量化と共に、積極的に環境問題に取り組む姿勢として高く評価すべきである。今後は、マイバックの利用促進を促されたい。